

宇治市植物公園観察会

日 時：令和 7 年（2025 年）3 月 14 日（金）

場 所：宇治市植物公園

集 合：宇治市植物公園チケット売り場 午前 10：00

参加者：16 名+実習生 1 名（欠席 5 名）

行 程：10：05～12：05 魚住園長による案内

12：05～12：55 お昼・打ち合わせ

12：55～14：20 インプリ及び「地面の野草をみつ
けよう」

作成者：立本 勉





魚住園長

担当の大川内

朝の挨拶



「春の芽吹き」

<温室ゾーン>



ショクダイオオコンニャク



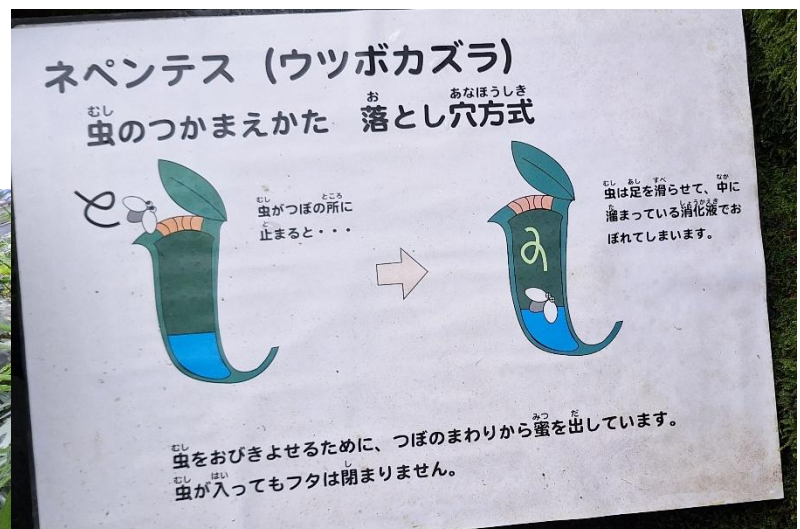
カクチョウラン



ハランアナナス



ウツボカズラ





ジャボチカバ

ジャボチカバ

直接幹に花咲く幹生花



カカオ

直接幹に実がつく幹生果



カリアンドラ

* 幹生花・幹生果は熱帯林の植物に多いとのこと。

<秋のゾーン>



イロハモミジの冬芽
アントシアニンで赤く、
紫外線から芽の保護



カンザキアヤメ（晩秋から冬に咲く）



キクザキイチゲ



ユキワリソウ



干支「巳：へび」植栽はビオラ、オタフクナンテンなど

<春のゾーン>



ナノハナ



サンシュユ



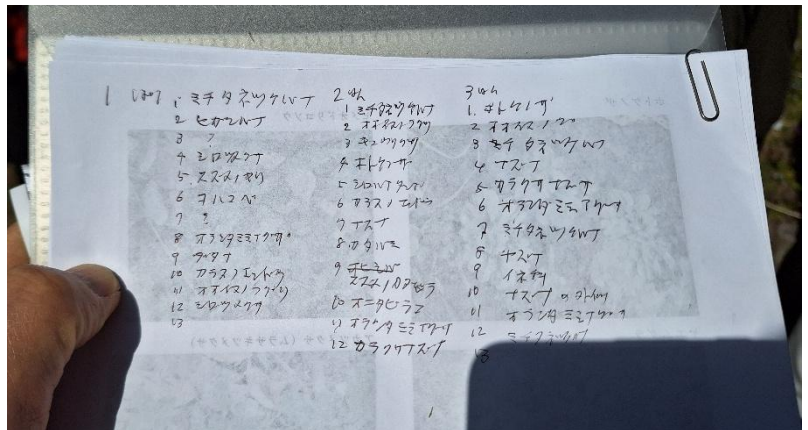


インプリ（大川内）：クリスマスローズは何故下向きに花を咲かせるのか？ 雨などから雄しべ、雌しべを守るため。花びらは退化し、そこに蜜腺があり虫を呼ぶ。花びらに見えるのはガクである。



インプリ（齊藤）：ヤマコウバシ 雌雄異株だが、日本には雌木のみあり、雄木なしで実をつける（単為生殖）巨大クローンであることが分かった。

<地面の野草をみつけよう>



4つのグループに分かれて観察し、野草に旗を立て名前を当てる。囲いの中の芽生えてきた野草の名前を当てるのはやはり難しい。皆さん、資料と見比べながらすぐ分かる野草もある一方、同定しにくい野草もあった。それぞれ楽しみながら野草を学んだ。 お疲れ様でした！